

令和6年度 第1回 東陽中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月21日（火） 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 東陽中学校会議室
- 3 出席委員 大橋 美義、吉春 辰郎、高林 昇、飯塚 正師、増谷 方明、小田 明美、
藤田 眞弓、中村 健二
- 4 欠席委員 山田 玲子
- 5 学 校 中野 敬之（校長）、松下 直由（教頭）、柏木 直人（教務主任）、
乾 由佳（CSディレクター）
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議録作成者 乾 由佳（CSディレクター）
- 8 議長の選出

大橋会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

- 9 協議事項
 - （1） 令和6年度学校運営の基本方針について
 - （2） 今年度の見通し
 - （3） いじめ防止基本方針について
 - （4） 夢育やらまいか事業に対する意見書について

10 会議記録

司会の大橋会長から、委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和6年度学校運営の基本方針について

- ・令和5年度第4回で説明し承認されているが、校長から改めて簡略に説明があった。
- ・TOYO ルームについて、保護者へのアピールが不十分ではないか。不登校生徒に対して、何か出来ることはあるか。（中村委員）
- ・個々での相談の中で、その都度紹介している。（教頭）
- ・以前 TOYO ルームにいた生徒と自分とは話したことがあった。運営委員や外部の人が関わるの
はどうか。（飯塚委員）
- ・困っている生徒の心に少しでも入っていききたい。試しにやってみるのも一手ではないか。（大橋
会長）
- ・現状では、養護教諭の負担がすごく大きいと思う。（小田委員）
- ・皆さんにまずは見学してもらい、情報交換していただくのもよい。（校長）
- ・学校の実態を知る上で見学することはいいことだと思う。日程を調整して許可を取ってから見
学するのはどうか。（大橋会長）
- ・グランドデザインにある4つの力はとても素晴らしいと思う。オンライン授業の生徒の出席の
扱いについては、どうなっているのか。（増谷委員）
- ・TOYO ルームでオンライン授業を受けている生徒は、出席となる。自宅で受けている生徒の出席
は、いくつかの条件がある。（教頭）
- ・生徒と地域の関わりで地域とつながるような話ができるとよい。地域の人が教室で、10 から 15
分位話をするのはどうか。生徒の声が聞けるのではないか。（高林委員）
- ・多様な体験という点では意味がある。学校は教育課程の中で一定の方向性をもってやっているの
で、自由な話よりは学校の取組に合ったテーマがあるとよいのではないか。（大橋会長）
- ・生徒の活動に人権作文があるので、そこで話をすると入りやすいのではないか。（教頭）
- ・高林さんのご提案は大切なものだと思う。学校は地域からの提案や受け入れに関して、学校の実
情に合わせて判断する必要がある。地域からの提案を学校の教育課程の中でどうするかというこ
とを、先生方の検討課題にしてもらいたい。（大橋会長）

- ・今後、休日の部活動が地域移行になっていくから、そういったときも活用していけばよいのでは。(飯塚委員)
- ・教員がやっている人権の授業で専門的な方に来てもらえればありがたい。(教頭)
- ・前回も学校経営構想については承認を頂いていますが、皆さん、改めて承認でよろしいでしょうか。(大橋会長)
- ・全員一致で承認した。

(2) 今年度の見通し

- ・今年度の目標を資料 P.6<評価項目 4>に整理させて頂きました。(教頭)
- ・職場体験では、学級増で体験場所の確保が昨年以上に必要となる。地域の職場を委員から紹介してもらいたい。講話の講師活用については、飯塚さんを中心に、我々もお手伝いする。(大橋会長)
- ・部活動の地域移行は、条件が難しくなかなかうまくいっていないと聞いた。部員数が少なくなると、部活動そのものが成立しなくなる。東陽中では、現在、サッカーとテニスが土日に外部による活動をしている。報酬やケガ対応、公式試合の出場など地域移行に向けて決まっていないことが多い。(大橋会長)
- ・浜松市の方としても、土日両方やるのか、地区大会を勝ち上がり全国大会出場となったときの引率の問題や大会運営の問題などまだまだ決まっていないことが多い。学校としては様子を見ながら探っていくという状態となる。(校長)
- ・河輪小の少年団では、河輪で大会をやるときは河輪が実行委員となる。他でやるときは、招待される側なので、参加費を払うという形を取っている。河輪小の少年団もクラブに変わった。送迎は、基本、保護者が行っている。(増谷委員)
- ・野球やサッカーなどのクラブチームがあるところは移行しやすいが、そうでないと土台作りからになり、現在の子たちがやりたいのにやれないとなるとなるのは可哀想だと思う。(小田委員)
- ・今の小学 6 年生が中 2 の秋になった時に移行となっているが、詳細は待ち状態である。(校長)
- ・昔に比べて確実に生徒の運動量が減っていると思われる。それは各自で考えなければいけない問題。学力については、学校側に御尽力をお願いしたい。(大橋会長)
- ・職場体験の場所は何でもいいのか。例えば、工場、郵便局、銀行などでもよいか。(吉春委員)
- ・体験先リストを 7 月にご提示します。今年度の受入先は、これから確認する。(教頭)
- ・受入可能な職場への挨拶等は、私もお手伝いできる。(飯塚委員)
- ・紹介して頂けるところがあれば、次回の運営協議会でリストアップして提出してほしい。(大橋会長)

(3) いじめ防止基本方針について

- ・前年度と変わった点は、よりスピード感を持って対応するために随時報告となった。(教頭)
- ・海外、特にヨーロッパでは保護者がいじめ防止のために、学校行事でピンクの物を身に付けて参加となっているらしい。小学校でもこのような活動を取り入れようと考えているらしい。例えば体育大会や文化発表会などで保護者がピンクの物を身に付けることで、子供たちの気を引き、いじめはいけないのだと感ずることや、保護者が見守っているのだなと意識をしてもらえたらよいと思う。(飯塚委員)
- ・子供たちへの啓発になるのではないか。学校で検討してみてください。(大橋会長)
- ・保護者への呼びかけは委員でやってもいいのではないか。(飯塚委員)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書(別紙参照)

- ・全員に承認された。

その他連絡事項

- ・次回は、令和 6 年 7 月 2 日(火) 14:00~15:30